

日本会計研究学会 第66回大会

2007(平成19)年
9月1日(土)～3日(月)



日本会計研究学会 第66回大会準備委員会

〒790-8578 松山市文京町4-2

松山大学経営学部 原田満範研究室内

TEL 089-925-7111 (代表)

FAX 089-922-5415 (総合研究所)

E-mail: matsuyama-g@cc.matsuyama-u.ac.jp



ご挨拶

会員各位

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、18年ぶりに私ども松山大学におきまして日本会計研究学会第66回全国大会を開催することになり、大変光栄に存じております。

近年、会社法の制定、会計基準のコンバージェンス、産業構造の変化と管理パラダイムの変容、さらには会計不正の多発による監査規制の強化等、会計を取り巻く環境は大きく変化し、会計の外延はますます拡がりつつあります。こうした状況においては、その原点に立ち帰り、そこに内在する問題を改めて問い直すことには大きな意義があるものと考え、大会テーマを「原点に立ち帰って会計を考える」といたしました。

このテーマのもと、統一論題として「わが国財務会計思考の再検討」、「経営システムとしての管理会計」、「利益情報の変容と監査のあり方」の3会場を設けることになりました。清新な報告にもとづく活発な討論が展開されるものと期待いたしております。

本大会における新たな試みとして、公開シンポジウムとASBJセッションを企画いたしました。

公開シンポジウムでは、「企業価値の創造・向上と企業会計」のテーマのもと、財務会計、管理会計、会計監査といった領域を超えた斬新で横断的な議論が展開されるものと思われま。

ASBJセッションでは、経済のグローバル化とそれにもなう会計の国際化のなかで新たな会計基準の設定や大幅な変更がおこっていることにかんがみ、わが国の会計基準設定機関である企業会計基準委員会（ASBJ）の代表者から「企業会計基準委員会の最近の活動状況と今

後の運営方針」についてご報告をいただくことになっております。こうしたことを通して、学界と基準設定機関との相互理解がいつそう深まることを願っております。

さらに、国際交流セッションにおきましては、前大会に引き続き、韓国会計学会から2名の報告者をお招きしてご報告いただくことになっており、会計の国際化へ向けた着実な歩みが続くことはこの上ない喜びであります。

本大会におきましても、昨年と同様、自由論題に多数の報告者を得ることができ、開催校として有り難いかぎりであります。また、本大会では、次代を担う研究者の皆様にも門戸を開放し、広く斯界の先達から指導・助言を受ける機会を設け、院生セッションの充実を図ることにいたしました。

本大会の各報告につきましては、日本公認会計士協会の継続的専門研修制度におけるCPE認定研修として承認されております。多数の皆様のご参加を得て、理論と実務との融合が促進されることを願っております。

最後に、本大会開催にあたって多大なご支援とご協力をいただきました韓国会計学会、企業会計基準委員会、地元松山市、(財)松山観光コンベンション協会、その他関係各位に厚くお礼申し上げます。なお、道後温泉は本学から至近距離（徒歩15分）のところにごございます。

2007（平成19）年7月1日

日本会計研究学会第66回大会準備委員会

委員長	原田満範
委員	清水茂良
	岡野憲治
	森本三義
	村上宏之
	溝上達也

参加登録手続き

- (1) 大会参加費は7,000円、懇親会費は6,000円です。両方に参加される場合は合計で13,000円です。
- (2) ご参加の方は、同封の郵便振替払込用紙で8月17日(金)までにお払い込み下さい。大会・懇親会へのご参加は、お振り込みをもって確認させていただきます。なお、お振り込みが遅れますと名札等の準備ができかねますので、期日厳守をお願いいたします。振込期日後の懇親会へのお申込みは、会場準備の都合上、お受けできません。
- (3) 大会参加費および懇親会費の領収書につきましては、「郵便振替払込請求書兼受領証」で代えさせていただきます。大会当日は、念のため、「郵便振替払込請求書兼受領証」(またはその写し)をご持参下さい。なお、お振り込みいただいた金額につきましては払い戻しをいたしませんので、ご了承下さい。
- (4) 本大会では、弁当の予約・販売はいたしません。本学生生活協同組合カフェテリア(カルフル1階)等をご利用下さい。
- (5) 大会会場へのお車でのご来場はご遠慮下さい。
- (6) お問い合わせは、大会準備委員会宛に郵便、FAXまたはEメール(裏表紙参照)にてお願いいたします。

目次

大会全体スケジュール	1
理事会・評議員会等スケジュール	3

大会第1日目 9月1日(土)

会員総会	4
スタディ・グループ報告	4
課題研究委員会・特別委員会報告	5
ASBJセッション	6
懇親会	6

大会第2日目 9月2日(日)

自由論題報告Ⅰ	7
韓国会計学会からの招待報告	13
統一論題報告	14
公開シンポジウム	15

大会第3日目 9月3日(月)

自由論題報告Ⅱ	16
統一論題討論	22

会場のご案内	23
--------	----

会場への交通アクセス	25
------------	----

次頁以降の司会者・報告者等の氏名は敬称を略しております。

大会全体スケジュール

第1日目 9月1日(土)

- 12:00-17:30 参加者受付 (温山会館1階)
18:00-19:00 参加者受付 (カルフル1階)
12:30 新入会員発表 (温山会館1階)
13:00-14:30 会員総会 (8号館2階821番教室)
14:40-15:10 スタディ・グループ報告
第1会場：黒川行治主査 (8号館2階821番教室)
第2会場：河野正男主査 (8号館2階820番教室)
第3会場：吉岡正道主査 (8号館4階844番教室)
15:20-15:50 課題研究委員会報告：山本浩二委員長
(8号館2階821番教室)
15:55-16:25 特別委員会報告：廣本敏郎委員長
(8号館2階821番教室)
16:30-17:00 特別委員会報告：桜井久勝委員長
(8号館2階821番教室)
17:10-18:10 ASBJセッション
(8号館2階821番教室)
18:30-20:30 懇親会 (カルフル1階・2階)

第2日目 9月2日(日)

- 9:20-17:00 参加者受付 (温山会館1階)
9:50-12:00 自由論題報告Ⅰ
(5号館2階・3階, 7号館1階・2階)
9:55-11:40 韓国会計学会からの招待報告
(7号館2階725番教室)
13:00-15:20 統一論題報告
(8号館2階821番教室・820番教室,
8号館4階844番教室)
15:30-19:00 公開シンポジウム
(8号館4階845番教室)

第3日目 9月3日(月)

- 9:20-13:30 参加者受付 (温山会館1階)
9:50-12:00 自由論題報告Ⅱ
(5号館2階・3階, 7号館1階・2階)
13:00-15:00 統一論題討論
(8号館2階821番教室・820番教室,
8号館4階844番教室)

理事会・評議員会等スケジュール

8月31日(金)

- 12:30-14:00 入会資格審査委員会
(東本館7階会議室4)
- 14:00-16:00 学会賞、太田・黒澤賞審査委員会
(東本館7階会議室3)
- 16:00-18:00 理事会 (東本館7階会議室1)

9月1日(土)

- 9:30- 評議員受付 (温山会館1階)
- 10:00-12:00 評議員会 (8号館7階870番教室)

◆ 第1日目 9月1日(土) ◆

- 参加者受付 12:00-17:30 温山会館1階
18:00-19:00 カルフル1階
- 新入会員発表 12:30 温山会館1階
- 会員控室 12:00-18:00
8号館4階841番教室・842番教室

会員総会

13:00-14:30
8号館2階821番教室

スタディ・グループ報告

14:40-15:10
(発表時間 各20分 質疑応答 各10分)

第1会場 8号館2階821番教室

会計社会の変容と市場の論理
司会 古賀 智敏 (神戸大学)
主査 黒川 行治 (慶應義塾大学)

第2会場 8号館2階820番教室

環境財務会計の国際的動向と基礎概念に関する研究
司会 北村 敬子 (中央大学)
主査 河野 正男 (中央大学)

第3会場 8号館4階844番教室

会社法の計算規定
司会 辻山 栄子 (早稲田大学)
主査 吉岡 正道 (東京理科大学)

課題研究委員会・特別委員会報告

課題研究委員会報告 15:20-15:50

特別委員会報告(1) 15:55-16:25

特別委員会報告(2) 16:30-17:00

(発表時間 各20分 質疑応答 各10分)

会 場

8号館2階821番教室

課題研究委員会報告

わが国における原価計算の導入と発展

—文献史的研究—

司 会 山田 庫平 (明治大学)

委員長 山本 浩二 (大阪府立大学)

特別委員会報告(1)

企業組織と管理会計の研究

司 会 加登 豊 (神戸大学)

委員長 廣本 敏郎 (一橋大学)

特別委員会報告(2)

会計情報を活用した企業評価に関する総合的研究

司 会 松原 成美 (専修大学)

委員長 桜井 久勝 (神戸大学)

ASBJセッション

企業会計基準委員会の

最近の活動状況と今後の運営方針

—コンバージェンスの取組みを中心に—

17:10-18:10

(発表時間 50分 質疑応答 10分)

8号館2階821番教室

司 会 藤沼 亜起

(日本公認会計士協会会長)

報告者 西川 郁生

(企業会計基準委員会委員長)

秋葉 賢一

(企業会計基準委員会主席研究員)

河本 圭介

(企業会計基準委員会専門研究員)

懇 親 会

18:30-20:30

カルフルール1階・2階

第2日目 9月2日(日)

参加者受付 9:20-17:00 温山会館 1階
会員控室 9:20-18:30
8号館 4階841番教室・842番教室

自由論題報告 I

第1会場-第10会場

報告(1) 9:50-10:20

報告(2) 10:20-10:50

(休憩 10分)

報告(3) 11:00-11:30

報告(4) 11:30-12:00

(発表時間 各20分 質疑応答 各10分)

第11会場-第14会場 (院生セッション)

報告(1) 10:00-10:40

(休憩 20分)

報告(2) 11:00-11:40

(発表時間 各20分 質疑応答・指導助言 各20分)

第1会場 5号館 2階520番教室

司会 石内 孔治 (久留米大学)

- 企業価値評価法における業界選定
- 会計情報と株価情報をメルクマールとして -
武井 敦夫 (東京情報大学)
- 非R & D知的資産と企業パフォーマンス
細海昌一郎 (首都大学東京)
- 企業評価
司会 中村 博之 (横浜国立大学)
- 企業評価
林 雪華 (中京学院大学)
- M & Aにおける企業評価
大倉雄次郎 (関西大学)

第2会場 5号館 2階521番教室

司会 上埜 進 (甲南大学)

- 期待外利益の回避と裁量的研究開発支出
小嶋 宏文 (事業創造大学院大学)
- 包括利益と経営者の裁量
中村 美保 (大分大学)
- 利益測定と実現概念
司会 氏原 茂樹 (流通経済大学)
- 利益測定と実現概念
齊野 純子 (流通科学大学)
- 財産法と損益法の系譜
- 包括的利益と純利益 (稼得利益) -
足立 典照 (元大阪学院短期大学)

第3会場 5号館 2階522番教室

司会 小菅 正伸 (関西学院大学)

- サービス組織の原価計算研究の史的展開
- 活動基準原価計算の受容と展開を中心に -
岡田 幸彦 (筑波大学)
- 日本企業による品質コスト利用の実態
- サーベイ調査 -
梶原 武久 (神戸大学)
- 付加価値管理会計について
司会 田中 雅康 (諏訪東京理科大学)
- 付加価値管理会計について
西村 重富 (大阪学院短期大学)
- 付加価値管理会計の展開
- 京セラアメンバー経営を中心として -
水野 一郎 (関西大学)

第4会場 5号館 3階530番教室

司会 伊豫田隆俊 (甲南大学)

- 会社法会計監査人監査の監査規範について
- 監査基準の国際的コンバージェンスを
踏まえつつ -
安達 巧 (作新学院大学)
- 進 美喜子 (九州情報大学)

- (2) 会計上の見積りの監査の新局面についての検討
 -ISA540公開草案(2006年12月)を対象に-
 奥西 康宏(専修大学)
- 司会 津田 秀雄(近畿大学)
- (3) 継続企業の前提に関する追記と
 異常会計発生高の関係
 高田 知実(神戸大学)
- (4) 通説貸借対照表監査批判
 千代田邦夫(立命館大学)

第5会場 5号館3階531番教室

- 司会 青木 茂男(青山学院大学)
- (1) 信託会計の再検討
 鯖田 豊則(東京国際大学)
- (2) 保険会計の現状と課題
 篠原 淳(山口大学)
- 司会 田中 弘(神奈川大学)
- (3) 会計士による当局銀行検査事務の代替可能性
 -行政のアウトソーシングと
 会計士による証明業務拡張の観点から-
 越智 信仁(筑波大学大学院生)
- (4) 会計概念フレームワークの現状と問題点
 岩崎 勇(九州大学)

第6会場 7号館1階710番教室

- 司会 古田 隆紀(大阪学院大学)
- (1) デュポン・システムによるROEの変化の予測
 -ノ宮士郎(日本政策投資銀行)
- (2) 経営者の予想バイアスと投資者の利益予測の困難性
 村宮 克彦(神戸大学)
- 司会 冨塚 嘉一(中央大学)
- (3) 利益調整からみた経営者予測利益の価値関連性
 関 利恵子(信州大学)
- (4) 予測情報の有用性
 張 櫻 馨(横浜市立大学)

第7会場 7号館1階711番教室

- 司会 横山 和夫(東京理科大学)
- (1) 外国税額控除方式から
 国外源泉所得免除方式への転換
 高久 隆太(慶應義塾大学)
- (2) 税効果会計情報に基づく企業戦略の実態分析
 西澤 茂(上智大学)
- 司会 柳 裕治(専修大学)
- (3) 地方公共団体の事業コストの分析
 -都道府県の徴税活動を題材として-
 金子 邦博(公認会計士)
- (4) 申告所得推定モデルに関する研究
 平井 裕久(名古屋商科大学)
 後藤 晃範(大阪学院短期大学)
 山下 裕企(東京理科大学)

第8会場 7号館1階712番教室

- 司会 高尾 裕二(大阪大学)
- (1) インタangibleズの計上と資産性についての検討
 林田 浩(共栄大学)
- (2) 剥奪価値による資産評価の今日的意義
 濱田 崇嘉(早稲田大学)
- 司会 浜本 道正(横浜国立大学)
- (3) ファイナンスリースの経済的実質と
 注記情報のValue Relevance
 坂井 映子(武蔵大学)
- (4) リース会計における残価保証の公正価値測定論
 石井 明(上武大学)

第9会場 7号館2階720番教室

- 司会 金井 繁雅(文京学院大学)
- (1) わが国の財産評価基準の沿革
 松尾 俊彦(呉大学)
- (2) 認識基準の史的展開の再吟味
 -「現金主義から発生主義へ」の通説の誤り-
 渡邊 泉(大阪経済大学)

司 会 中野 常男 (神戸大学)

(3) 会計記録と公証人

工藤栄一郎 (熊本学園大学)

(4) イタリア式簿記伝播説の顛末

岩邊 晃三 (聖カタリナ大学)

第10会場 (院生セッション) 7号館 2階726番教室

司 会 石崎 忠司 (中央大学)

(1) 減価償却の機能について

松井富佐男 (静岡産業大学)

(2) 利益の資本組入と「資本と利益の区別」

篠原 繁 (創価大学)

司 会 梶田 龍三 (大分大学)

(3) 資本・利益の区分と持分概念

池田 幸典 (高崎経済大学)

(4) 資本金および資本剰余金

内川 菊義 (同志社大学名誉教授)

第11会場 (院生セッション) 7号館 2階721番教室

司 会 尾畑 裕 (一橋大学)

(1) 生産管理会計の分析枠組み

新井 康平 (神戸大学大学院生)

司 会 中川 優 (同志社大学)

(2) 日中原価計算規則の比較研究

蔣 益 鳴 (熊本学園大学大学院生)

第12会場 (院生セッション) 7号館 2階722番教室

司 会 郡司 健 (大阪学院大学)

(1) 情報提供機能と補足的説明事項

張 峻 松 (北海道大学大学院生)

司 会 菊谷 正人 (法政大学)

(2) 米国のセグメント情報公開に関する一考察

—1960・70年代に焦点を当てて—

田村真由美 (神戸大学大学院生)

第13会場 (院生セッション) 7号館 2階723番教室

司 会 浦崎 直浩 (近畿大学)

(1) わが国における減損会計の実態とその機能

吉田 武史 (日本大学大学院生)

司 会 倉田 幸路 (立教大学)

(2) リース会計の資産概念にみる持分的思考

—レサー側における残余価値の検討—

佐藤 恵 (横浜国立大学大学院生)

第14会場 (院生セッション) 7号館 2階724番教室

司 会 斎藤 真哉 (横浜国立大学)

(1) 不動産所有と企業経営

貞方 清孝 (熊本学園大学大学院生)

司 会 高須 教夫 (兵庫県立大学)

(2) ジョイント・ベンチャーの会計問題

—VIEに該当するジョイント・ベンチャーを
中心として—

姜 昌 憲 (日本大学大学院生)

韓国会計学会からの招待報告

挨拶 9:55-10:00

報告(1) 10:00-10:40

(休憩20分)

報告(2) 11:00-11:40

(発表時間 各20分 コメント・質疑応答 各20分)

会場

7号館2階725番教室

挨拶 平松 一夫 (関西学院大学)

司会 杉本 徳栄 (関西学院大学)

(1) The Effect of XBRL System

on the Information Asymmetry:

KIND-XBRL System of KSE - Early Adapter
in Korea

Joo In-Ki (Yonsei University)

Shin Hyun-Han (Yonsei University)

Ra Chae-Won (Ph. D. candidate,

Yonsei University)

コメンテータ 坂上 学 (大阪市立大学)

(2) The Impact of Excess Voting Rights

on Corporate Governance and Accruals

Yoon Soon Suk

(Chonnam National University)

Kim Hyo Jin (Ph. D. candidate,

Chonnam National University)

コメンテータ 首藤 昭信 (専修大学)

統一論題報告

13:00-15:20

報告(1)

報告(2)

(休憩10分)

報告(3)

報告(4)

第1会場

8号館2階821番教室

わが国財務会計思考の再検討

座長 新田 忠誓 (一橋大学)

(1) 会計的利益と経済的利益の間

- 2つの境界と会計の本質 -

角ヶ谷典幸 (九州大学)

(2) 新基準にみる会計思考の連続と非連続

藤井 秀樹 (京都大学)

(3) 財務会計と税務会計の交流とその断絶

鈴木 一水 (神戸大学)

(4) 財務報告の効率性と公正性

須田 一幸 (早稲田大学)

第2会場

8号館2階820番教室

経営システムとしての管理会計

座長 廣本 敏郎 (一橋大学)

(1) アメリカ巨大企業における管理会計の生成

高栢 真一 (久留米大学)

(2) 日本企業の組織原理とマネジメントコントロール

- アンソニーの枠組みからの考察 -

横田 絵理 (慶應義塾大学)

(3) 経営システムの多様性と予算管理論

伊藤 克容 (成蹊大学)

(4) アメリカ型原価計算システムの

わが国への同化プロセスの再認識

山本 浩二 (大阪府立大学)

第3会場

8号館4階844番教室

利益情報の変容と監査のあり方

座長 内藤 文雄 (甲南大学)

- (1) 利益情報の変容を巡る監査の基本問題
林 隆敏 (関西学院大学)
- (2) 「利益の質」の概念・変容をめぐる諸議論と
監査の意義
黒川 行治 (慶應義塾大学)
- (3) 利益情報の質的变化に対応した監査保証の研究課題
内藤 文雄 (甲南大学)
- (4) 開示情報の構造化の必要性和監査可能性
柴 健次 (関西大学)

公開シンポジウム

企業価値の創造・向上と企業会計

15:30-19:00

8号館4階845番教室

座長 広瀬 義州 (早稲田大学)
パネリスト 徳賀 芳弘 (京都大学)
上妻 義直 (上智大学)
平井 直樹 (野村證券)
浅田 孝幸 (大阪大学)
吉見 宏 (北海道大学)
花堂 靖仁 (早稲田大学)

第3日目 9月3日(月)

参加者受付 9:20-13:30 温山会館1階

会員控室 9:20-14:00

8号館4階841番教室・842番教室

自由論題報告Ⅱ

第1会場-第10会場

報告(1) 9:50-10:20

報告(2) 10:20-10:50

(休憩 10分)

報告(3) 11:00-11:30

報告(4) 11:30-12:00

(発表時間 各20分 質疑応答 各10分)

第11会場-第14会場(院生セッション)

報告(1) 10:00-10:40

(休憩 20分)

報告(2) 11:00-11:40

(発表時間 各20分 質疑応答・指導助言 各20分)

第1会場

5号館2階520番教室

司会 向山 敦夫 (大阪市立大学)

- (1) 環境財務会計の構築と展開
-U. S. Environmental GAAPに基づく考察-
植田 敦紀 (横浜国立大学)
- (2) 文化的相異性による
環境会計のアカウントビリティ概念
吉田 雄司 (埼玉学園大学)
- 司会 太田 正博 (福岡大学)
- (3) 公会計における環境問題の表示について
古市 承治 (福岡国税局)
- (4) 企業にとって温室効果ガス排出クレジット取引の
あるべき会計処理
伊藤 眞 (慶應義塾大学)

第2会場

5号館2階521番教室

司会 松尾 聿正 (関西大学)

- (1) 社債の転換と増加資本の測定
山田 純平 (駒澤大学)
- (2) 収益の認識と負債概念
－未履行契約の会計問題と関連して－
長東 航 (福岡大学)
- 司会 土方 久 (西南学院大学)
- (3) 非金融負債の会計処理
－非金融資産とのグループ化－
川村 義則 (早稲田大学)
- (4) 企業への信頼性と無形資産の形成
中野 勲 (神戸学院大学)

第3会場

5号館2階522番教室

司会 岡部 孝好 (同志社大学)

- (1) 会計基準変更時差異の償却に関する
会計方針選択行動
野坂 和夫 (早稲田大学)
- (2) アメリカ会計基準における risk
久保 淳司 (北海道大学)
- 司会 湯田 雅夫 (獨協大学)
- (3) 会計基準の収斂過程における
G4+1の果たした役割
－企業結合会計基準を事例として－
宗田 健一 (鹿児島県立短期大学)
- (4) 新興経済圏諸国と国際財務報告基準のアドプション
小津稚加子 (九州大学)

第4会場

5号館3階530番教室

司会 杉山 学 (青山学院大学)

- (1) 第三セクター法人の営業継続の指標
－リゾート業を中心にした事例研究－
阪田 正大 (広島県公営企業部)

- (2) わが国の省庁別財務書類の会計処理の特徴
－諸外国の発生主義的会計や

わが国の地方自治体会計をふまえて－

金子 良太 (國學院大学)

司会 岡村 勝義 (神奈川大学)

- (3) 地方公会計におけるバランスシート等が提供する
会計情報の利用実態について
松本 有二郎 (静岡産業大学)
- (4) 政府の財務報告に対する情報ニーズと利用
－議員調査の分析－
山本 清
(国立大学財務・経営センター, 東京大学)

第5会場

5号館3階531番教室

司会 百合野正博 (同志社大学)

- (1) 監査報酬と利益の質
－独立性、それとも専門能力?－
矢澤 憲一 (青山学院大学)
- (2) 株式持合と利益の質に関する実証研究
音川 和久 (神戸大学)
北川 教央 (神戸大学大学院生)
- 司会 高田 敏文 (東北大学)
- (3) 中国における内部統制の整備に関する一考察
徐 陽 (九州共立大学)
- (4) 内部統制の透明化が市場の信頼性に及ぼす影響
加藤 達彦 (明治大学)

第6会場

7号館1階710番教室

司会 櫻井 通晴 (城西国際大学)

- (1) 組織間マネジメント・コントロールの構成要因
坂口 順也 (関西大学)
- (2) 純粋持株会社における
マネジメント・コントロールの現状と課題
頼 誠 (兵庫県立大学)
浅田 孝幸 (大阪大学)
塘 誠 (成城大学)

- 司 会 溝口 周二 (横浜国立大学)
- (3) 病院の社会的責任活動報告としての
医療安全コスト計算書の提唱

- 橋口 徹 (日本福祉大学)
- (4) マネジメント・コントロールと企業統治
－フレンチ・パースペクティブ－
大下 丈平 (九州大学)

第7会場 7号館1階711番教室

- 司 会 万代 勝信 (一橋大学)
- (1) 会計理論における操作主義の展開
伊藤 徳正 (愛知学院大学)
- (2) 経営者業績評価における現金生成単位決定
野田 昭宏 (武蔵工業大学)
- 司 会 佐藤 倫正 (名古屋大学)
- (3) キャッシュ・フロー計算書における
セグメント情報の必要性
永田 靖 (広島経済大学)
- (4) 財務情報の構造化による信頼回復の方法を求めて
笠井 賢治 (亜細亜大学)

第8会場 7号館1階712番教室

- 司 会 長谷川 恵一 (早稲田大学)
- (1) 顧客の観点からみた財務的指標に関する課題
河合 隆治 (桃山学院大学)
- (2) 組織能力の認識と測定
－capacity 論の拡張－
和田 淳蔵 (岡山大学)
- 司 会 中瀬 忠和 (中央大学)
- (3) アメリカ政府機関におけるライフサイクル・コスト
－エネルギー省 WASTLCC を中心として－
竹森 一正 (中部大学)

- (4) 卸売業におけるABCの導入事例研究
－(株)飯田のケース－
松尾 貴巳 (神戸大学)
大浦 啓輔 (神戸大学)
新井 康平 (神戸大学大学院生)

第9会場 7号館2階720番教室

- 司 会 上野 清貴 (長崎大学)
- (1) SFAS 第158号の導入に伴う
退職給付会計基準の変更と証券市場への影響
笠岡恵理子 (関西学院大学)
- (2) 退職給付会計における二つの潮流
宮川 昭義 (札幌大学)
- 司 会 井原 理代 (香川大学)
- (3) 退職給付会計情報の特性とディスクロージャー
挽 直治 (成蹊大学)
- (4) 経営者予想とアナリスト予想
太田 浩司 (兵庫県立大学)

第10会場 7号館2階726番教室

- 司 会 梶浦 昭友 (関西学院大学)
- (1) AHP による投資家行動の決定要因分析
富田 知嗣 (関西大学)
- (2) 証券市場における投資家行動のゲーム理論的分析
田口 聡志 (同志社大学)
- 司 会 久富 玄理 (神戸学院大学)
- (3) 大株主の行動が企業の透明性に与える影響
来栖 正利 (流通科学大学)
- (4) 公的・私的情報精度と資本コスト
竹原 均 (早稲田大学)

第11会場 (院生セッション) 7号館2階721番教室

- 司 会 大日方 隆 (東京大学)
- (1) キャッシュ・フロー情報の分析
－中小企業の事例を中心として－
岡部 勝成 (広島大学大学院生)

- 司 会 百合草裕康 (兵庫県立大学)
- (2) キャッシュ・フロー計算書の情報分析と
有用性向上のための一提案
佐々木宣夫 (松山大学大学院生)

第12会場 (院生セッション) 7号館2階722番教室

- 司 会 佐々木隆志 (一橋大学)
- (1) 米国の会計基準設定におけるアプローチと
監査人訴訟リスクとの関係
滝西 敦子 (京都大学大学院生)
- 司 会 瀧田 輝己 (同志社大学)
- (2) 日本市場における
財務諸表監査の経済的機能に関する検証
佐久間義浩 (京都大学大学院生)

第13会場 (院生セッション) 7号館2階723番教室

- 司 会 米山 正樹 (早稲田大学)
- (1) 遅延認識および即時認識をめぐる検討
—包括利益概念に関連付けて—
松原 沙織 (横浜国立大学大学院生)
- 司 会 佐藤 信彦 (明治大学)
- (2) 包括利益の導入と
日本における利益認識に関する考察
安部由佳理 (関西学院大学大学院生)

第14会場 (院生セッション) 7号館2階724番教室

- 司 会 河崎 照行 (甲南大学)
- (1) わが国の中小企業会計制度について
堂野崎 融 (呉大学大学院生)
- 司 会 山地 秀俊 (神戸大学)
- (2) クレジット会社における
新会計情報システム導入の事例研究
中野 晴之 (名古屋大学大学院生)

統一論題討論

13:00-15:00

第1会場

8号館2階821番教室

- わが国財務会計思考の再検討
座 長 新田 忠誓 (一橋大学)
報告者 角ヶ谷典幸 (九州大学)
藤井 秀樹 (京都大学)
鈴木 一水 (神戸大学)
須田 一幸 (早稲田大学)

第2会場

8号館2階820番教室

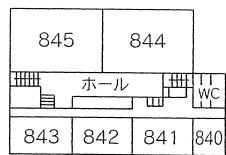
- 経営システムとしての管理会計
座 長 廣本 敏郎 (一橋大学)
報告者 高栢 真一 (久留米大学)
横田 絵理 (慶應義塾大学)
伊藤 克容 (成蹊大学)
山本 浩二 (大阪府立大学)

第3会場

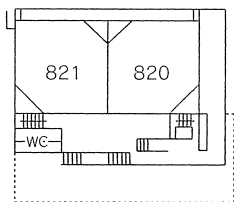
8号館4階844番教室

- 利益情報の変容と監査のあり方
座 長 内藤 文雄 (甲南大学)
報告者 林 隆敏 (関西学院大学)
黒川 行治 (慶應義塾大学)
内藤 文雄 (甲南大学)
柴 健次 (関西大学)

❖ 会場のご案内 ❖

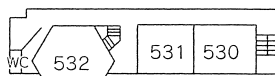


4階

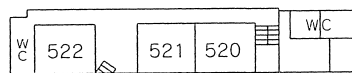


2階

8号館

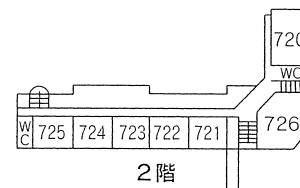


3階

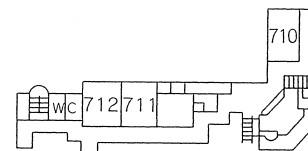


2階

5号館



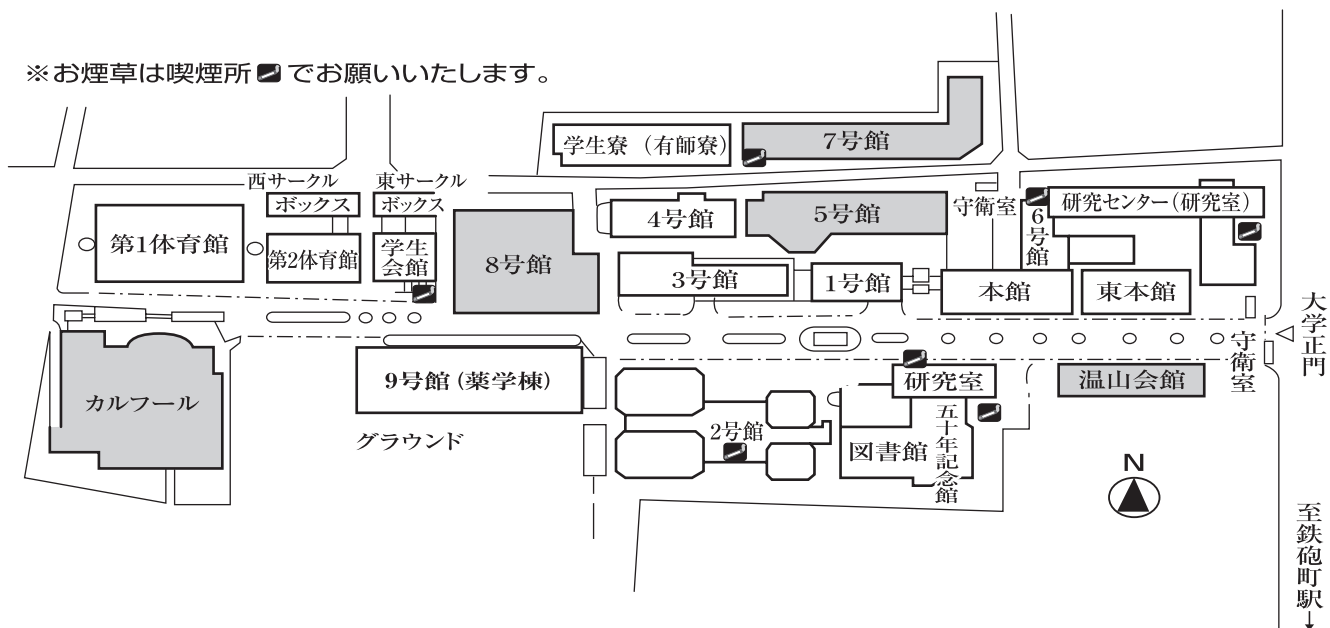
2階



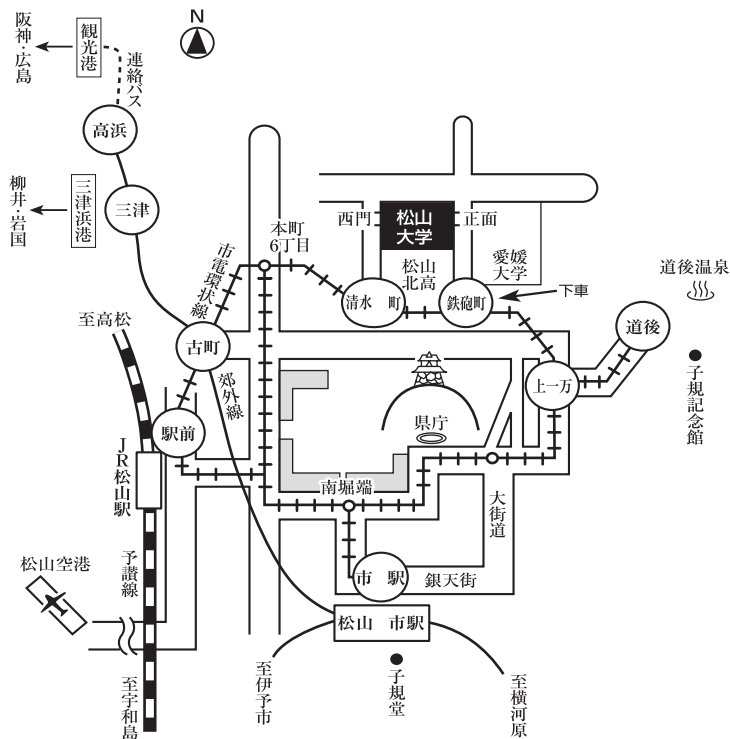
1階

7号館

※お煙草は喫煙所 ☑ でお願いいたします。



会場への交通アクセス



1 JRで 来られる方	JR松山駅	市電環状線 (15分) 古町経由	こまち	鉄砲町	徒歩 (5分)			
		(タクシー10分 約1,000円)						
2 船で 来られる方	松山観光港 (阪神・広島)	バス (3分)	高浜駅	郊外線 (15分)	こまち	市電 (10分)	鉄砲町	徒歩 (5分)
		バス (30分)		(タクシー30分 約2,800円)				
3 航空機で 来られる方	松山空港	バス (25分)	JR松山駅	(あと1に同じ)				
		バス (25分)		(タクシー25分 約2,400円)				
	三津浜港 (柳井・岩国)	バス (25分)	三津駅	郊外線 (10分)	こまち	市電 (10分)	鉄砲町	徒歩 (5分)
		タクシー (3分)		(タクシー25分 約2,500円)				

タクシーの時間と料金はいずれも松山大学正門までのものです。